

令和3年度（令和2年度対象）

# 松島町教育委員会教育行政点検評価報告書

令和3年10月  
松島町教育委員会

## ～はじめに～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、町議会に提出するとともに、これを公表する義務があります。

松島町教育委員会は、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民の皆さんへの説明責任を果たすため、学識経験者の知見を活用し、教育委員会事務の点検及び評価を実施し、報告書としてまとめました。

本報告書は、課題や今後の改善方策を明らかにするとともに、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを目的に編纂されています。

第1章には松島町教育委員会の会議について、第2章には松島町教育基本方針と基本施策について、第3章には教育行政点検評価について取りまとめました。これらを踏まえ、より良い松島町の教育の実現に向けてしっかりと取り組んでまいります。

令和 3年10月

松島町教育委員会

## 関係法令

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

－ 目 次 －

<b>第1章</b>	<b>令和2年度教育委員会議・教育委員の研修</b>	
1	会議開催内容及び結果	- 1 -
2	教育施設訪問及び会議・研修等	- 3 -
3	教育委員会議・教育委員の研修	- 5 -
<b>第2章</b>	<b>松島町教育委員会基本方針・基本施策</b>	
1	本町教育のめざす姿	- 7 -
2	本町教育の基本方針	- 7 -
3	本町教育の基本施策	- 8 -
<b>第3章</b>	<b>令和2年度松島町教育行政点検評価</b>	
1	基本施策1：幼児教育の充実	
(1)	元気な心と体の育成	- 9 -
(2)	幼保小中高の連携推進	-11-
(3)	家庭の教育力向上支援 ～家庭でつくる親子の時間～	-12-
(4)	地域で支える子育ての支援	-13-
(5)	まつしま防災学（幼児期）の推進	-14-
2	基本施策2：学校教育の充実	
(1)	一人一人の児童生徒への確かな学力の保証	-15-
(2)	夢と感動のある学校づくり	-17-
(3)	心身ともに健全な児童生徒の育成	-19-
(4)	松島の歴史と文化を学ぶ活動の充実	-22-
(5)	まつしま防災学の強化	-23-
3	基本施策3：地域文化の継承と創造	
(1)	歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進	-25-
4	基本施策4：生涯学習の推進	
(1)	地域で支える家庭教育の推進	-27-
(2)	芸術文化活動の充実促進	-29-
(3)	国際感覚を培う生涯学習	-30-
5	基本施策5：町民総スポーツの推進	
(1)	スポーツをとおした地域・世代間交流の推進	-31-
(2)	体力づくりの推進	-32-
(3)	観るスポーツの推進	-33-
(4)	スポーツをとおした心と体の健康	-34-
<b>第4章</b>	<b>学識経験者による意見</b>	
	令和2年度対象松島町教育委員会教育行政点検評価報告書についての意見書	-35-

## 第1章 令和2年度教育委員会議・教育委員の研修

### 1 会議開催内容及び結果

会議種別	日時及び場所	案 件	結 果
4月定例会	4月17日(金) 役場3階 302会議室	議案第1号 松島町学校給食センター運営審議会委員の委嘱について	原案可決
5月定例会	5月29日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 指定管理者の指定について【松島町文化観光交流館】 議案第2号 令和2年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)について	原案可決 原案可決
6月定例会	6月26日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 令和2年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)について	原案可決
7月臨時会 (秘密会)	7月10日(金) 役場 教育長室	議案第1号 令和3年度使用教科用図書採択計画等について	原案可決
7月臨時会 (秘密会)	7月31日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 令和3年度使用教科用図書採択計画等について	原案可決
7月定例会	7月31日(金) 役場3階 301会議室	報告・協議事項のみ	
8月定例会	8月28日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 令和2年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)について 議案第2号 令和元年度松島町一般会計決算認定(教育委員会関係分)について 議案第3号 令和2年度(令和元年度対象)松島町教育委員会教育行政点検評価報告書について 議案第4号 物品売買契約の締結について	原案可決 認 定 原案可決 原案可決
8月臨時会 (秘密会)	8月28日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関等の職員の任免について	原案可決
9月臨時会 (秘密会)	9月25日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 教育委員会職員の任免について	原案可決
9月定例会	9月25日(金) 役場3階 301会議室	報告・協議事項のみ	
10月定例会	10月23日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 物品売買契約の締結について	原案可決

会議種別	日時及び場所	案 件	結 果
11月定例会	11月27日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 指定管理者の指定について(松島運動公園(管理事務所、多目的運動広場、野球場、テニスコート等施設))	原案可決
		議案第2号 指定管理者の指定について(松島運動公園(温水プール施設))	原案可決
12月定例会	12月18日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 松島町スクールソーシャルワーカー任用規則の制定について	原案可決
1月定例会	1月29日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 令和3年度「松島町の教育」に係る教育方針について	原案可決
2月臨時会 (秘密会)	2月12日(金) 役場 教育長室	議案第1号 県費負担教職員たる校長及び教頭の任免内申について	原案可決
2月定例会	2月26日(金) 役場3階 301会議室	議案第1号 令和2年度松島町一般会計補正予算(教育委員会関係分)及び令和3年度松島町一般会計予算(教育委員会関係分)について	原案可決
3月臨時会 (秘密会)	3月24日(水) 役場 教育長室	議案第1号 教育委員会事務局の職員及び教育機関等の職員の任免について	原案可決
3月定例会	3月24日(水) 役場3階 301会議室	報告・協議事項のみ	

## 2 教育施設訪問及び会議・研修等

日 時	行 事 名	場 所
4 月 2 日 ( 木 )	松島町立小・中学校教職員宣誓式	松島町役場3階 大会議室
4 月 9 日 ( 木 )	松島町立幼稚園入園式	各幼稚園
4 月 9 日 ( 木 )	松島町立小・中学校入学式	各小・中学校
5 月 29 日 ( 金 )	学校経営方針に係る意見交換会	松島町役場3階 大会議室
6 月 12 日 ( 金 )	教科用図書展示会(～6/29)	さんみらい多賀城イベントプラザ
6 月 18 日 ( 木 )	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
7 月 27 日 ( 月 )	宮城県教育委員会・市町村教育委員会 教育懇話会(圏域別会議)	宮城県庁
8 月 27 日 ( 木 )	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
8 月 29 日 ( 土 )	松島中学校運動会	松島中学校
9 月 18 日 ( 金 )	教育行政点検評価報告書議会提出	松島町役場 議長室
9 月 26 日 ( 土 )	松島第一幼稚園運動会、松島第五幼稚園運動会	松島第一幼稚園・松島第五幼稚園
10 月 1 日 ( 木 )	教育委員辞令交付	松島町役場 応接室
10 月 3 日 ( 土 )	松島第二幼稚園運動会	松島第二幼稚園
10 月 10 日 ( 土 )	松島町立小学校運動会	各小学校
10 月 13 日 ( 火 )	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
11 月 14 日 ( 土 )	宮城県教育委員会・市町村教育委員会 教育懇話会(全体会議)	宮城県庁2階 講堂
11 月 24 日 ( 火 )	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
12 月 2 日 ( 水 )	発信型英語教育拠点校事業講演研修会	宮城県松島高等学校

日 時	行 事 名	場 所
1 月 10 日 ( 日 )	第72回松島町成人式	松島町文化観光交流館
1 月 14 日 ( 木 )	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
1 月 15 日 ( 金 )	小中連携英語教育推進事業連絡協議会	宮城県庁
2 月 12 日 ( 金 )	松島町総合教育会議	松島町役場2階 201会議室
3 月 13 日 ( 土 )	松島中学校卒業証書授与式	松島中学校
3 月 16 日 ( 火 )	松島町立幼稚園卒園式	各幼稚園
3 月 19 日 ( 金 )	松島町立小学校卒業式	各小学校
3 月 23 日 ( 火 )	仙台管内教育委員会教育長会議	仙台合同庁舎
3 月 31 日 ( 水 )	松島町立小・中学校教職員離任式	松島町役場2階 201会議室

3 教育委員会議・教育委員の研修

【担当課：教育課学校教育班】

<p>教育委員会議，教育委員の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地方自治法第180条の5及び8</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律第2条</li> <li>・松島町教育委員会会議規則</li> </ul>		
<p>事業目的と概要</p> <p>① 松島町教育委員会は，地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき市町村に設置される執行機関であり，その代表者である教育長と4人の委員で構成される。委員は人格が高潔で教育・学術・文化及びスポーツに関し，識見を有する者で町長が町議会の同意を得て任命する。          教育長は，町長が議会の同意を得たうえで任免する。また，教育長は教育委員会の代表として位置づけられ，教育委員会委員の指揮監督にあたり，教育委員会の会議を主宰する。          教育長が欠けたときのため，あらかじめ教育長職務代理者を委員の中から選任する。          これらの事務を処理するため，教育委員会に事務局が置かれ，「松島町教育振興基本計画」「松島町の教育」に沿って施策を執行及び管理する。</p>		
<p>事業実施状況</p>	<p>事業の効果</p>	<p>事業の課題・改善策</p>
<p>① <b>教育委員会定例会・臨時会</b>          ※令和2年度松島町教育委員会議開催内容及び結果については，別表参照。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松島町教育委員会会議規則に基づき，定例会議を毎月1回，計12回開催した。</li> <li>・定例会は，議事日程に基づき行われ，一般事務報告では，教育委員会事務局及び教育機関の事務事業の状況を報告し，教育長報告では，宮城県仙台教育事務所管内教育長会議内容，町内定例校長会や教頭会での各学校との情報交換，諸問題解決のため指示・指導助言についての報告を行った。</li> <li>・議事については，教育長に対する事務委任規則に基づき，教育委員会に議案を14件提出し，各教育機関からの提案に対し，教育委員による適切な審議を経て全議案が可決された。</li> <li>・臨時会は，計6回開催した。議案を6件提出し，全議案が可決された。</li> </ul>	<p>① 教育委員会の設置目的である教育，学術及び文化に関する事務を合議制の独立した執行機関として教育委員会定例会議や総合教育会議等を通して，町の教育行政充実に取り組むことができた。</p>	<p>① 研修会や会議等で得た知識や情報等を更なる教育行政発展に役立てることができるよう，定例会等を通し，課題や目標及び進捗状況等の意見交換を行う機会を充実していきたい。</p>



① **教育委員会教育施設訪問及び会議・研修等**

※令和2年度教育委員会教育施設訪問及び会議・研修等については、別表参照。

- ・ 教育委員会委員は、町長と教育委員会が相互の連携を図り、より一層の民意を反映した教育行政を推進していくための総合教育会議の他、研修会、学校や生涯学習関連の各種式典、行事への参加を中心に活動した。

① 新型コロナウイルス感染症拡大により中止となる研修会もあったが、感染対策を講じ研修会や会議等に参加したことにより、教育委員としての資質向上と町の教育行政の充実に取り組むことができた。

① 新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底させたいとあわせて各種研修等を実施し、現状の把握やそれぞれの課題に対する指導助言を行うことで学校教育の充実と生涯学習の推進を図っていきたい。

## 第2章 松島町教育委員会基本方針・基本施策

本町の今後10年間の教育の理念と指針を定めた松島町教育振興基本計画（平成25年3月策定）に基づき、町民として日々成長する望ましい姿・めざす姿を実現するために以下の教育基本方針のもと、5つの基本施策（平成29年度版）を示し、町民の生涯学習の充実と進展を図るべく、松島の歴史と文化の継承と創造を推し進めるとともに「幼児教育・学校教育の向上」及び「地域や家庭における教育の再生と活性化」を達成する町民総参加型の教育振興を推進していく。

### 1 本町教育のめざす姿

#### 『誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人』

- 松島を愛し、一人一人が自信と誇りを持った個性豊かな松島人
- 学校・家庭・地域において学び合い、支え合う絆を大切にする松島人
- 新たな時代をしなやかに力強く生き抜く松島人

【松島町教育振興基本計画より】

### 2 本町教育の基本方針

松島町教育振興基本計画を体系的に推進するために、下記の基本方針を定めた。

#### 「松島で生きて 松島を大切にし 豊かな心を育てる」

基本方針Ⅰ：社会全体で協育し、笑顔あふれる松島人を育成する

基本方針Ⅱ：学校・家庭・地域が協働し、夢と志を育み、しなやかに力強く生き抜く松島人を育成する

基本方針Ⅲ：松島の豊かな教育資源に学ぶ教育活動を推進し、郷土の景観に誇りを持ち、新たな文化を創造する松島人を育成する

基本方針Ⅳ：生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人生を送れる松島人を育成する

### 3 本町教育の基本施策

#### 基本施策1：幼児教育の充実

『元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり』

##### 幼児期における目指す子ども像

- 健康で元気な笑顔あふれる子ども
- すなおで思いやりのある子ども
- 自分で考え行動し、自分を表現できる子ども

#### 基本施策2：学校教育の充実

『未来の松島を担う、夢と志を持ち、誇りと自信に満ちた児童生徒の育成』

##### 育みたい児童生徒の姿

- 松島に学び、松島を誇りに思い、松島の未来を担おうとする気概を持つ人間
- 国際化、情報化など変化の激しい時代を心豊かにたくましく生きる人間
- 正義と良識を重んじ、支え合い共に生きようとする人間

#### 基本施策3：地域文化の継承と創造

『歴史と文化を継承し、文化遺産の保護と活用を図った教育の推進』

#### 基本施策4：生涯学習の推進

『協働による家庭教育、地域活動の推進』

#### 基本施策5：町民総スポーツの推進

『スポーツをとおした町民の活力と地域の活性化』

第3章 令和2年度松島町教育行政点検評価

1 基本施策1：幼児教育の充実『元気でのおびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり』

【担当課：教育課学校教育班（幼稚園）】

基本施策1：幼児教育の充実 (1) 元気な心と体の育成		
事業目的と概要		
◎心身ともに健康な幼児の育成 ①幼児の身体能力向上（体づくり運動の活用，外遊びの推奨） ②ALTによる国際理解教育の実施（英語教育の推進，英語遊びの実施） ③施設の整備と管理の充実 ④絵本・読書教育の推進 ⑤基本的な生活習慣・食育・むし歯予防の推進（新型コロナウイルス感染症対策の取組） ⑥親子の心の健康をサポートする相談体制の充実 ⑦園外保育・自然体験学習の充実		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 幼児の身体能力向上に向けて，マリソル松島によるボール遊びを実施した。（各幼）  ① 踊育につながるダンスなどの表現活動を保育の中で実施した。（各幼） ② 新型コロナウイルス感染予防のためALTとの交流は実施できなかったが，保育の中で英語に関わる時間を設けた。（各幼） ③ 新型コロナウイルス感染症対策として町内幼稚園に加湿器，パーティション等を設置した。（教委） ④ 降園時の絵本や紙芝居の読み聞かせを実施した。また，園内に絵本コーナーを増設して幼児が好きな本を読む機会を増やした。（各幼） ④ 人形劇鑑賞を実施した。（一幼・二幼）  ⑤ 「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊んで健やかに伸びル」という「みやぎっずルルブル推進事業」や「キッズチャレンジ」を活用し基本的な生活習慣の定着促進を図った。（各幼） ⑤ 園の畑でサツマイモ・にんじん・枝豆を栽培した。（各幼）	① 体を動かす楽しさを味わうとともに，ボールの扱い方，様々な体の動かし方など自ら積極的に体を動かす機会が多くなった。（各幼） ① 幼児が楽しんで表現活動を行うことができた。（各幼） ② 保育の中で英語のCDを使って幼児なりに英語に親しむことができた。（各幼） ③ 新型コロナウイルス感染症に対する予防意識が高まった。（教委） ④ 絵本による想像力の育成につながった。（各幼）  ④ 昔話の人形劇を見たことで，よりおはなしに興味をもつようになった。（一幼・二幼） ⑤ 「みやぎっずルルブル推進事業」「キッズチャレンジ」などを活用したことで家庭教育の意識改善ができた。（各幼）  ⑤ サツマイモや枝豆の栽培した野菜を園で食したことで食に関する意識を高めることができた。（各幼）	① 継続的に実施できるように各団体に協力を依頼していく。（各幼） ① 踊育活動を継続していく。（各幼） ② 新型コロナウイルス感染症対策をしながらALTによる英語で遊ぼうを実施していく。（各幼） ③ 新型コロナウイルス感染症対策を継続していく。（教委） ④ ボランティアに協力を依頼し，読み聞かせの会を開催していく。（各幼）  ④ 年1回でも年間計画の中に計画的に取り入れていく。（各幼） ⑤ 生活習慣がさらに定着するよう園だよりなどで啓発活動に努めていく。（各幼）  ⑤ 栽培に関する知識を高め，収穫による成功体験ができるようする。（各幼）

<p>⑤ 健康観察カードでの検温の徹底と手洗い・消毒を励行した。(各幼)</p> <p>⑥ 子育てに不安を感じた親子に対して相談を重ね、関係機関に繋げた。(各幼)</p> <p>⑦ 近くに散歩に行き、身近な自然に触れる機会を設けた。(各幼)</p>	<p>⑤ 幼児自身や保護者の意識も高まり、感染対策に効果があった。(各幼)</p> <p>⑥ 子育て支援センターの子育て相談で臨床心理士のアドバイスを受けたことで保護者の不安解消となり、担任との連携も深まった。(各幼)</p> <p>⑦ 自然に触れることで、様々な発見や知的好奇心を育む活動となった。(各幼)</p>	<p>⑤ 新型コロナウイルス感染症対策を継続していく。(各幼)</p> <p>⑥ 保護者や園全体、関係機関との共通理解を深めながら、継続的な支援を行う。(各幼)</p> <p>⑦ 園周辺の散策を含め今後も継続して実施していく。(各幼)</p>
--	--	---

【担当課：教育課学校教育班（幼稚園）】

基本施策1：幼児教育の充実 （2）幼保小中高の連携推進		
事業目的と概要 ◎各幼稚園間及び保育所，小学校，中学校，高等学校との連携や交流の推進 ①幼稚園・保育所・小学校等の相互の交流事業の実施 ②幼保合同の幼児教育の研究・開発（幼保連携したアプローチカリキュラムの実践） ③特別支援の早期体制づくりと連携による支援 ④中学生・高校生等の保育ボランティア・保育体験の実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 小学校の校舎や授業を見学し年長児が就学に向け小学校見学を実施した。（各幼）  ① 保幼小連絡会で幼児の情報交換を行った。（各幼）  ② 二幼の園児と高城保育所分園の園児が日常一緒に活動し学びと遊びを共有している。（二幼）  ③ のびっこクラブを通し，早期体制作りの保護者サポートを行った。（各幼）  ③ 巡回相談を活用し，教諭のスキルアップと園全体の支援体制の見直しを図った。（各幼）  ④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施できなかった。（各幼）	① 就学への不安を減らし期待を高めることができた。（各幼）  ① 小学校教育への円滑な移行に向け教師間で共通理解ができた。（各幼）  ② 日常から保育活動を一緒に行うことで幼児同士の関わりが広がった。（二幼）  ③ 臨床心理士のサポートを受け教諭や保育士が連携しのびっこでの保護者支援を行った。（各幼）  ③ 専門家からの助言・指導により，教諭自身のスキルアップにつながった。（各幼）	① 今後も継続していけるよう小学校と連携を深めていく。（各幼）  ① 継続実施に向け連絡調整を図る。（各幼）  ② 二幼と分園児のタイムスケジュールを調整し，より充実した活動となるようにしていく。（二幼）  ③ 保護者の困りごとに寄り添う支援を継続していく。（各幼）  ③ 継続し保育の質と支援体制の充実を図っていく。（各幼）  ④ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら事業を実施していきたい。（各幼）

基本施策1：幼児教育の充実 （3）家庭の教育力向上支援 ～家庭でつくる親子の時間～		
事業目的と概要		
◎家庭の教育力の向上支援を図る ①親子ふれあいの推進 ②親子のかかわりについての啓発 ③子育て事業・育児サークルをとおした楽しい子育ての啓発と支援 ④幼稚園・保育所における親子行事・家庭教育と連携した事業の実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 教育機関からの刊行物（子育て・食育等）を配布し親子で参加できる催し等を知らせた。（各幼）  ① 園だより・クラスだよりを配布し，幼児の基本的な生活習慣形成に役立てるようにした。また，園活動をボードに記入したり，ホームページで保護者に向けて知らせた。（各幼）  ② 新型コロナウイルス感染症拡大防止により実施出来 ③ なかった。（各幼）  ④ 親子遠足（年長）松島めぐりを実施。瑞巖寺・五大堂・遊覧船でのエクスカージョン事業を行った。（各幼）	① 親子でのものづくりや話題づくりの場を提供することができた。（各幼）  ① 園だよりやボード，ホームページを通して，園での様子を知らせ，家庭の子育てを支援する一助となった。（各幼）  ④ 感染症対策を行いながら親子行事を実施できたことにより，園児の意欲が高まり保護者も満足できた。（各幼）	① 親子のかかわり方について，刊行物を利用して支援を行っていく。（各幼）  ① 園での様子を知らせることにより，家庭での親子ふれあいの機会を作っていく。（各幼）  ② 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら啓発活動を実施していく。（各幼）  ④ 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら継続して実施していきたい。（各幼）

基本施策1：幼児教育の充実 （4）地域で支える子育ての支援														
事業目的と概要 ◎子育て支援・家庭教育の充実 ①保護者・祖父母・地域・ボランティア・NPO等と協働による交流型学習や子育て支援教育の連携の推進 ②家庭教育講話や親子体験行事の実施 ③一時保育による子育て支援の実施 ④家庭教育の支援・園庭開放・体験入園の実施 ⑤ごみゼロ運動や花いっぱい運動等の活動の推進 ⑥教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ，園だより等）														
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策												
① 地域の「すずめ踊り松島竹谷舞」に協力を依頼し、保護者ボランティアによるすずめ踊り体験会を実施した。（五幼） ② 楽天のフレンドシップジャーニーによるライブビューイングを実施した。（二幼） ③ 保護者の実情に合わせた預かり保育を実施した。（各幼） <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>預かり保育事業</th> <th>利用実人数</th> <th>利用延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>松島第一幼稚園</td> <td>23人</td> <td>44人</td> </tr> <tr> <td>松島第二幼稚園</td> <td>19人</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>松島第五幼稚園</td> <td>13人</td> <td>59人</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 5px;">利用事由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事（授業参観，PTA役員会，懇談会）</li> <li>・健診，通院，介護等</li> <li>・交通事情等</li> <li>・冠婚葬祭</li> </ul>	預かり保育事業	利用実人数	利用延人数	松島第一幼稚園	23人	44人	松島第二幼稚園	19人	68人	松島第五幼稚園	13人	59人	① 幼児の地域に対する愛着形成の基盤となった。（五幼） ② 楽しくダンスやクイズに参加することができ幼児の発想力向上となった。（二幼） ③ 預かり保育について，保護者のニーズに応えることができた。（各幼）	① 活動団体の協力を得ながら，継続していく。（五幼） ② 参加できる機会を提供できるよう情報収集に努める。（二幼） ③ 臨機応変に対応し保護者のニーズに応じているが，体制的に実施できない日がある。（各幼）
預かり保育事業	利用実人数	利用延人数												
松島第一幼稚園	23人	44人												
松島第二幼稚園	19人	68人												
松島第五幼稚園	13人	59人												
④ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため園庭開放を中止した。（各幼） ⑤ 園内での職員による花いっぱい運動を実施した。（各幼） ⑥ 毎日の教育活動の様子を，月に数回ホームページに掲載した。（各幼）	④ 園内の環境美化に努めた。（各幼） ⑥ 保護者がホームページを閲覧することで園との円滑な情報共有が行われ，園での子どもの様子を伝えることができた。（各幼）	④ 新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極め，判断していく（各幼） ⑤ 継続して園内美化に努める。（各幼） ⑥ ホームページに掲載する写真の撮り方や掲載の仕方を工夫し，継続して取り組んでいく。（各幼）												



基本施策1：幼児教育の充実 （5）まつしま防災学（幼児期）の推進		
事業目的と概要		
◎防災・安全に対する実施体制の整備や安全管理の徹底 ①まつしま防災学（幼児期）による命を守る教育の推進 ②幼小中や地域との協働による防災訓練・交通安全教育等の実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 交通安全・火災・不審者対応・地震・津波・Jアラートなど様々な状況・時刻に応じた避難訓練を実施した。（各幼）  ① 防災・安全に関する紙芝居や絵本，DVDを活用し年間を通して指導した。（各幼）  ① 職員で危険箇所を巡回・点検し，安全を確保した。（各幼）  ② 小学校の交通安全教室や避難訓練に参加した。（各幼）	① 迅速に行動する姿が見られ，緊急時対応の意識を高めることができた。（各幼）  ① 避難時の原則【おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない】や，不審者対応【ついていかない・車にのらない・おおごえをだす・すぐにげる・知らせる】，地震時の【ダンゴむしのポーズ】が定着してきた。（各幼）  ① 危険箇所を巡回・点検することで，職員の防災意識が向上した。（各幼）  ② 園での活動と違い人数も多く知らない児童がいる環境でも，落ち着いて緊急時の避難方法や心構えについて知ることができた。（各幼）	① 災害の種類について，様々な状況や時間帯を想定した訓練を行う。（各幼）  ① 幼児期の防災教育の一環として，今後も紙芝居や絵本，映像を通して災害の怖さを伝え，避難の方法や必要性を繰り返し指導し，保護者の協力を得ながら具体的に動けるよう継続して実施する。（各幼）  ① 巡回を継続し，園児の安全確保及び職員の意識向上に努める。（各幼）  ② 小学校と連携した防災訓練を実施するため，幼稚園としての課題を明確にし，指導方法等について小学校と協議していく。（各幼）

2 基本施策2：学校教育の充実『未来の松島を担う、夢と志を持ち、誇りと自信に満ちた児童生徒の育成』

【担当課：教育課学校教育班（小・中学校）】

基本施策2：学校教育の充実 (1) 一人一人の児童生徒への確かな学力の保証		
事業目的と概要 ◎習熟度別グループによる少人数指導やT・T指導※、専科指導の充実を図り、児童の学習意欲を高め、基礎・基本の確実な定着を図る ①個に応じたきめ細かな指導による確かな学力の保証 ・学習指導体制（少人数指導、習熟度に応じた指導、T・T、教科担任制）の充実 ・全国学力・学習状況調査と町統一学力テストを活かした指導の充実 ・特別支援教育の充実（幼小中の特別支援教育の連携推進） ②家庭学習の習慣化 ・家庭との協働による家庭学習習慣の浸透 ・家庭における読書活動の推進 ・自学自習の学びの場づくりの支援 ③教職員研修の充実 ・学力向上推進体制の整備（地域の教育力の組織化と学び支援の体制整備） ・秋田県にかほ市との教育研修交流 ・校内研究の指導・支援の体制整備 ・県指定による「小・中連携英語教育推進事業」の展開（町内小中学校2年間指定）		
※T・T指導（ティーム・ティーチング）とは、複数の職員が役割を分担し、協力し合いながら指導計画を立て、指導する方式のことです。		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 加配教員等を活用して少人数指導及びT・T指導、教科担任制、補助支援員によるサポートを実施した。（各小・中）  ① 特別な支援を要する児童に、通級指導担当や特別支援補助員が支援を行った。（各小）  ① 全国学力・学習状況調査や町統一学力テストについて、結果を分析し課題の洗い出しと改善への取組を行った。（各小・中） ① 特別支援教育連携協議会では、個別支援を要する幼児・児童・生徒の共通理解を図り、各学校間の情報交換を行った。（各小・中） ② 松島町版「家庭学習の手引き」のほか、家庭学習カードや家庭学習計画表を活用し、家庭学習が習慣化するよう指導に当たった。（各小・中）	① 少人数指導やT・T指導は、理解度を把握しやすく、個に応じた指導ができた。また、教科担任制は、複数の教師との関わりや教師の専門性を生かすことができ、児童等の学習意欲の向上、担任の負担軽減につながった。（各小・中） ① 個に応じた適切な指導・支援により落ち着いて学習に取り組むことができた。（各小）  ① 課題を把握することで、学び直しや教師の指導法の改善について話し合いすることができた。（各小・中） ① 特別支援教育連携協議会での情報交換において、児童等の支援について、共通理解を図ることができた。（各小・中） ② 「家庭学習の手引き」等を活用することにより、家庭学習への意欲が高まった。（各小・中）	① 個々の教師が児童等の学力向上のため各学年・学級の実態に応じた指導法を工夫していく。（各小・中）  ① 通級指導担当や補助支援員と担任が連携を深め、特別に支援が必要な児童に対する指導を更に充実させる。（各小） ① 全国学力・学習状況調査等の分析を継続し、児童等の実態に即した指導や支援の手立てを講じていく必要がある。（各小・中） ① 進学時の情報共有を図り、今後も該当児童等の支援を行っていく。（各小・中）  ② 更なる推進を目指して、保護者に対し家庭学習の重要性について啓発していく。（各小・中）

<p>② 読書カード等を活用し、家庭読書を推進した。(各小・中)</p> <p>② 家庭での「ノーゲーム&amp;減テレビデー」と手伝いの取組みを呼びかけた。(各小・中)</p> <p>② 学び支援事業による放課後学習支援で希望する児童等に宿題やプリント学習に取り組ませた。(各小・中)</p> <p>③ 校長指導のもと、研究主任を中心に授業研究や検討会を実施した。(各小・中)</p> <p>③ にかほ市との教育交流については、新型コロナウイルス感染症の状況により中止とした。(各小・中)</p> <p>③ 事前指導案検討会等に教育指導専門員が参加した。(教委)</p> <p>③ 「小・中連携英語教育推進事業指定校」となり宮城県教育委員会の指導を受け、研究を行った。(各小・中)</p>	<p>② 読書に対する意識が高まり図書の貸出しが増えた。(各小・中)</p> <p>② 家庭との連携により、テレビやゲームの時間が減り、家庭学習や手伝いに進んで取り組むようになった。(各小・中)</p> <p>② 参加した児童等からは、進んで学習に取り組み課題に挑戦しようとする意欲が見られるようになった。(各小・中)</p> <p>③ 授業研究や検討会を行ったことにより、協働で授業づくりを行うことができ指導力の向上が図れた。(各小・中)</p> <p>③ 外部からの視点で指導・支援を行い、校内研究の充実を図った。(教委)</p> <p>③ 1人1実践の授業実践を通して、外国語活動の指導法の開発・改善を行うことができた。(各小・中)</p>	<p>② 読書の傾向を分析し、図書の充実を図る。(各小・中)</p> <p>② ゲームやメディア等との付き合い方について、家庭との連携による指導が必要である。(各小・中)</p> <p>② 震災復旧事業である学び支援事業が終了した後も、既存事業を見直し、活動内容を継続していく。(各小・中)</p> <p>③ 授業研究の成果と課題を授業づくりに反映させ、更なる指導力の向上を目指す。(各小・中)</p> <p>③ コロナ禍でも実施できる方法を検討していく。(各小・中)</p> <p>③ 定期的に学校に訪問しながら、指導・支援を継続的に行っていく。(教委)</p> <p>③ 指定校により指導いただいたことをもとに指導法の研究を継続していく。(各小・中)</p>
---	---	---

基本施策2：学校教育の充実 （2）夢と感動のある学校づくり		
事業目的と概要		
①児童生徒が主体となり、協力と達成の喜びを体験できる教育活動の創造と支援 ②郷土松島を素材とする歴史文化教育と豊かな自然に学ぶ教育の工夫と実践 ③異校種間の特徴を生かし、教職員相互の資質向上をめざす小中交流授業の推進 ④未来を志向した学校諸施設の充実とICT等の教育設備の充実 ⑤世界とつながる機会と体験を提供する国際理解教育の推進 ・松島町グローバル人材育成を目標とした各種事業による国際感覚の醸成 ⑥言語力と発表力等コミュニケーション能力や創造力が育つ学校全体の環境づくり ⑦県内外の諸学校との交流活動の推進 ⑧教育活動の地域・家庭への積極的な発信（ホームページ、学校だより、学級だより等） ⑨地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）の推進 ⑩地域学校協働本部と学校が連携・協働した地域学校協働活動の充実		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① たてわり活動や児童会活動の充実を図った。（各小）  ① 講師を招いてマナー講習会を行った。（松中）  ② 総合的な学習の時間に「わが町松島」の学習を計画的に実施し、松島の歴史と文化財に関する学習を行った。（各小）  ② 松島に住む専門家や職業人による講話、体験学習、出前授業等を行った。（各小・中）  ③ 入学前の幼稚園児が、授業見学をした。（各小）  ③ 6年生が松島中学校において、中学校の授業を受ける体験活動を行った。（各小）  ③ 小中の教員が参加する町公開授業や小中合同教育研究会を実施した。（各小・中）	① 異学年交流により、高学年が低学年を優しく導く姿が見られた。（各小）  ① 専門家から礼儀や言葉遣いなど具体的な話を聞くことにより一般社会でのマナーを学ぶことができた。（松中）  ② 松島町の「人・こと・もの」に触れることで松島の特長に気づき、良さを改めて確認し、ふるさと松島への理解を深めた。（各小）  ② 専門家等による分かりやすい説明を受け、興味・関心を高める機会となった。（各小・中）  ③ 交流事業により成長を実感し、自信を深めることができた。（各小）  ③ 中学生となる自覚を促し、中学校生活への不安解消や期待を育む場となった。（各小）  ③ 教員相互の理解が深まった。（各小・中）	① 児童が主体的に活動するために年間指導計画を見直し継続して取り組ませていく。（各小）  ① 生徒が主体となり、多様な職種の方との交流を継続させていく。（松中）  ② ふるさと学習を更に充実させていくとともに、自ら発見し表現した情報を発信する力を伸ばしていく指導が必要である。（各小）  ② 専門家等による志教育の充実のため、地域の教育的資源の発掘が必要である。（各小・中）  ③ 新型コロナウイルス感染症対策を実施し、保育所児童も参加できる体制を構築する。（各小）  ③ 中1ギャップを少なくするため複数回実施することが必要である。（各小）  ③ 学びの系統性をを大切にし、町内で同等の指導が行えるような取組みを行っていく。（各小・中）

<p>④ GIGAスクール構想に基づくICT環境整備を行った。(教委)</p> <p>④ タブレット端末を使い自分の意見をやりとりするアプリケーションで思考力向上を図った。(各小)</p> <p>⑤ 外国語教育の中に国際理解教育を取り入れ、異文化理解や国際感覚を醸成するよう努めた。(各小)</p> <p>⑤ ALTやALTの母国文化に触れ合う取組みを行った。(松中)</p> <p>⑥ 各種行事や授業の中で発表機会を多く持つようにした。(各小・中)</p> <p>⑦ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施できなかった。</p> <p>⑧ 学校だより、学級だより、学校ホームページ、nopaメール等で教育活動について積極的に発信した。(各小・中)</p> <p>⑨ 学校運営協議会を開催し、学校の課題等を共有しながら改善策を協議した。(各小・中)</p> <p>⑩ サツマイモの苗植えやミシン指導など全学年を対象に年間を通して地域と連携した教育活動を行った。(二小)</p>	<p>④ 校内LAN整備及び1人1台タブレット端末の整備を行った。(教委)</p> <p>④ 発表に苦手意識のある児童も意欲的に学習に取り組む姿勢が見られた。(各小)</p> <p>⑤ 世界の国々の様子を知ることで、外国とのつながりに興味を持つようになった。(各小)</p> <p>⑤ ALTとの触れ合いやALTの母国と日本の学校の違いを英語で話してもらったことで異文化理解につながった。(松中)</p> <p>⑥ 的確な発表にするため表現を工夫し、話合いが自然な活動としてできるようになり、また相手の考えをよく聞く態度が育った。(各小・中)</p> <p>⑧ 学校生活の情報を発信し、家庭や地域等の方々の理解増進が図られた。(各小・中)</p> <p>⑨ 様々な意見をいただき、よりよい学校運営を行うことができた。(各小・中)</p> <p>⑩ 教員以外の方から専門的で幅広い知識を得ることができ、地域について深く学ぶことができた。(二小)</p>	<p>④ ICT教育が本格始動していくなか、機器の適切な管理運用を図っていく。(教委)</p> <p>④ タブレット端末等の積極的な利活用に向けた研修を重ね、ICTを活用した教育を推進していく。(各小)</p> <p>⑤ 継続していけるよう交流できる機関や人材を確保していく。(各小)</p> <p>⑤ 教科指導に限定することなく、教育活動全般に国際理解教育の視点を取り入れていく。(松中)</p> <p>⑥ 自分の意見を相手に伝えられる言語力と発表力を継続して育ていく。(各小・中)</p> <p>⑦ ICTを活用して、様々な地域の学校との交流を検討する。(各小)</p> <p>⑧ 学校の教育活動について、定期的に情報を発信していく。(各小・中)</p> <p>⑨ 学校・保護者・地域が連携し、児童生徒のことを考えた学校運営を行っていく。(各小・中)</p> <p>⑩ 活動を継続していくため、地域の方との連携を強化していく。(二小)</p>
---	---	---

基本施策2：学校教育の充実 (3) 心身ともに健全な児童生徒の育成		
事業目的と概要		
①全町での不登校ゼロの取組の推進 ・いじめ防止対策基本方針の徹底及び連携体制・重大事案における体制整備 ・児童生徒への定期的なアンケート実施等による実態把握と共通理解による早期対応 ・心のケアハウス事業実施による不登校児童生徒の家庭とのコミュニケーション強化と相談体制の確保 ・認め励まし合いながら、思いやりと信頼関係を育む取組の推進 ・一人一人を大切にする生徒指導の推進 ②子どもたちの安心・安全を守る取組の推進 ・いじめ・虐待・不登校・学校不適応・非行・自殺等予防・心のケアなど ③体力の向上や健康増進に向けた方策の推進 ・体力づくり運動、体力テストの活用、体育施設等の整備、むし歯予防の取組、正しい生活習慣・食習慣の育成 ・教育環境の整備 ④学校・家庭・地域が一体となった品性豊かな調和のとれた子育て活動の推進 ・あいさつ運動、道徳教育、伝統文化教育、読書活動の推進、親子のふれ合い活動の推進 ⑤幼保小中高の連携の推進		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 松島町いじめ防止基本方針に基づいて、各校で学校いじめ防止基本方針を作成し公表している。また、松島町いじめ重大事態対応マニュアルを作成し、重大事態に適切に対応できる体制を整備している。(各小・中・教委) ① 定期的にアンケートを実施し、悩みを持つ児童生徒に対し聞き取り調査を行った。また、日頃の様子について細やかに観察し、全職員で、情報共有を図りながら指導に当たった。(各小・中) ① コロナ差別やいじめをなくすためシトラスリボン活動を実施した。(各小・中) ① 松島子どもの心のケアハウス事業を継続した。(教委) ② スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを活用した心のケア・不登校対策事業を実施した。(教委)	① いじめ防止基本方針をホームページに公表したことにより、各校でのいじめ防止の取組や連携体制を明確にできた。(各小・中・教委) ① 定期的なアンケートにより、学校での悩みや友達との関わりの実態を把握し、得られた情報をもとに課題解決に当たることができた。(各小・中) ① シトラスリボン運動を実施したことにより、偏見や差別について考えることができた。 ① 心のケアハウス事業では、いじめや不登校により、学校生活に困難を抱えるようになった子どもたちの学校復帰や自立支援に取り組んだ。(教委) ② 心のケア・不登校対策事業では、学校と家庭、各機関との円滑な連携を図り、不登校児童生徒の学校生活復帰に努めた。(教委)	① いじめ防止基本方針を徹底し、重大事案が発生しないように取り組んでいく。(各小・中・教委) ① 定期的なアンケートや児童等の対話・観察を通して実態把握に努め、全体や個に対する指導を継続していく。(各小・中) ① 思いやりの心を育てていく活動を継続していく。 ① 「子どもの心のケアハウス」での複合的なサポートにつなげていくために、各校との連携や情報交換が必要である。(教委) ② 学校や家庭等と連携して、不登校児童生徒が置かれた環境の改善を図っていく。(教委)

<p>② 教育指導専門員を採用し、各校の指導を継続的に実施した。(教委)</p> <p>② PTAの協力のもと、長期休業中の地区巡視や危険箇所点検を行った。(各小・中)</p> <p>② 県の相談機関、要保護児童対策協議会と連携しケース会議を実施した。(各小・中)</p> <p>③ 新体力・運動能力調査で、新型コロナウイルス感染予防対策を講じて調査可能な種目を実施した。(各小・中)</p> <p>③ 縄跳び運動や業間マラソンなど運動の機会を増やした。(各小)</p> <p>③ 保健だよりや掲示資料などで健康増進の啓発のほか、手指消毒やマスク着用などの新型コロナウイルス感染予防対策の啓発を行った。(各小・中)</p> <p>③ メディアコントロールチャレンジやスマホ・ケータイ安全教室などを実施した。(各小・中)</p> <p>③ 自分のお弁当を自分でつくる「HappyLunchTime」を実施した。(五小)</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症対策として町内小中学校に空気清浄器、大型扇風機等を設置した。(教委)</p> <p>④ 児童会や生徒会を中心に、あいさつ運動を行った。(各小・中)</p> <p>④ 総合的な学習の時間に、地域の伝統文化について体験する機会を設けた。(各小)</p> <p>⑤ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を記載したアプローチ・カリキュラムと、入学当初の学校生活を示したスタート・カリキュラムの徹底を図った。(各小)</p> <p>⑤ 幼保小中のそれぞれの連絡会により、連携を図り進学時の引継ぎを行った。(各小・中)</p>	<p>② スクールソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの連絡調整を行い、子ども達の心のケアを行った。(教委)</p> <p>② 巡視により、地域や学校で安心・安全に活動ができた。(各小・中)</p> <p>② 宮城県心のサポート班の支援を受け、定期にケース会議を実施し、児童・保護者に寄り添った対応につながった。(各小・中)</p> <p>③ 新体力・運動能力調査を通して、児童等の実態や課題を把握・分析したことで、授業でポイントを絞った補強運動などを行うことができた。(各小・中)</p> <p>③ 休み時間に、積極的に外に出て、縄跳びやマラソンなど自主的に体を動かす姿が見られた。(各小)</p> <p>③ 健康や予防に対する意識が高まった。(各小・中)</p> <p>③ スマホやテレビ、ゲーム機との向き合い方を確認することができた。(各小・中)</p> <p>③ 食に対する関心を持たせることができた。(五小)</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症に対する予防意識が高まった。(教委)</p> <p>④ 自然に明るいあいさつができるようになった。(各小・中)</p> <p>④ 地域の伝統文化を体験し、表現することができた。(各小)</p> <p>⑤ 子どもが経験してきた遊びや生活環境を取り入れることで、子どもの戸惑いの解消につながった。(各小)</p> <p>⑤ 学習指導の参考となる情報交換ができ、校内の体制づくりができた。(各小・中)</p>	<p>② 今後も、連携していじめ対策及び不登校対策を行っていく。(教委)</p> <p>② 今後も継続するため、保護者の理解と協力が必要である。(各小・中)</p> <p>② 関係機関との連携を図りながら必要に応じてケース会議を行う。(各小・中)</p> <p>③ 新体力・運動能力調査で得られた結果を生かし苦手な運動領域に対しての児童等の興味や関心を喚起し、教科体育の指導を充実していく。(各小・中)</p> <p>③ 縄跳び運動や業間マラソンを継続しながら、全国や県のデータと比較分析をして、体力づくりを行っていく。(各小)</p> <p>③ 定期的に保健だよりを発行し、健康増進を啓発していく。(各小・中)</p> <p>③ 家庭での取組みが必要であり、児童生徒だけではなく保護者にも啓発していく。(各小・中)</p> <p>③ 家庭の協力を得ながら食育活動を継続していく。(五小)</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症対策を継続していく。(教委)</p> <p>④ 来校者や校外でもあいさつができるように、継続的に実施していく。(各小・中)</p> <p>④ 今後も継続していく。(各小)</p> <p>⑤ 幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすため、継続的に実施していく。(各小)</p> <p>⑤ 連携を充実させ、確実な引継ぎを行っていく。(各小・中)</p>
--	--	---

【担当課：教育課学校教育班（学校給食センター）】

基本施策2：学校教育の充実 (3) 心身ともに健全な児童生徒の育成 ・ふるさと食材の活用による家庭と連携した食育の推進と安全な給食の提供		
事業目的と概要 ◎学校給食は栄養バランスの取れた食事の提供により、成長期にある児童生徒の健康保持増進と体位の向上に寄与し、望ましい食習慣の確立をねらいとする。 ①栄養管理の充実 ②食育の推進等 ③環境衛生対策 ④安全対策 ⑤関係機関（学校給食センター運営審議会・学校給食担当者会議） ⑥アレルギー等対応 ⑦民間委託		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 園児や児童生徒の健全な心身の発達と食生活の改善を図るため、毎月の予定献立表と町ホームページにおいて、給食の栄養素の紹介や食に関する情報を発信した。 ① 栄養バランスの取れた献立を提供することは基より、季節毎に旬な地場産品を使用し、また、年中行事の際には、特色ある献立を提供した。 ② 栄養士による食育指導は、新型コロナウイルス感染症の影響により、松島第五小学校の一年生のみ行った。 ③ 「学校給食衛生管理基準」に則り、腸内細菌検査を月2回実施し、手洗いと感染予防を徹底して行った。 ④ 専門業者により保守点検を実施し、経年劣化による機器の破損等については、適宜修繕を行い、事故防止に努めた。また、委託業者に調理器具類の使用方法についての研修を依頼し、実施した。 ⑤ 学校給食センター運営審議会を书面審議により実施した。 ⑤ 学校給食担当者会議を実施した。 ⑥ 各幼稚園・小中学校と連携し、食物アレルギー等における対応手続きを行い、希望者に詳細献立表を配布した。 ⑦ 調理業務等を外部（民間）に委託した。	① 毎月の献立や食に関する情報を保護者等に周知することにより、家庭での食習慣の改善に寄与した。 ① 地場の野菜などに感心を持ち、また、年中行事毎に彩りある献立を提供することで、食への感心を高めることができた。 ② 実施した学年については、栄養バランスや体づくりの基本となる食の大切さと食事のマナーについて、理解を深める良い機会となった。 ③ 食中毒の発生や事故等が発生せずに済んだ。 ④ 調理従事者の事故防止・安全対策が図られた。 ⑤ 学校給食の運営方針や実施状況、給食費について協議することができた。 ⑤ 各幼・小・中学校の担当者との連絡調整や要望、意見交換をすることができた。 ⑥ 成分が詳細に記載された献立表を保護者と各幼稚園・小中学校とで情報共有することで、アレルギーによる事故防止に繋がった。 ⑦ 委託業者と情報共有し、安全で効率的な運営をすることができた。	① 給食の目的や意義を保護者にこれまで以上に感心を持ってもらうよう、工夫を行っていく。 ① 地場産品を使用した献立の充実や調理方法を研究し、趣向をこらした献立の提供に努める。 ② 全ての幼稚園・小中学校を対象に食育指導を行えるよう内容を工夫し、継続的に実施していけるよう努める。 ③ 日常の衛生管理に最善を尽くし、安全な給食を今後も提供できるよう努める。 ④ 機器類の保守点検及び研修を行い、事故防止に努める。 ⑤ 適切な学校給食のあり方や運営についての貴重な意見聴取の場として活用し、今後の改善に努める。 ⑤ 担当者と連携し、円滑な給食の提供ができるよう努める。 ⑥ 対象者の把握に努め、今後も幼稚園・小中学校と保護者と情報を共有し、連携して事故防止に努める。 ⑦ 今後も委託業者と連携を深め、安全で効率的な運営に努める。



基本施策2：学校教育の充実 （4）松島の歴史と文化を学ぶ活動の充実		
事業目的と概要		
<p>◎心身ともに健全で、豊かな知力と感性及び強い意志を持ち、いきいきと諸活動に励む児童の育成に努め、地域の伝統的行事や文化的活動に主体的、継続的に関われるようにし、郷土を愛する心情と態度の育成に努める。</p> <p>①総合的な学習の時間の充実 ・義務教育9年間を見通した郷土松島を素材とする「松島まるごと学」（歴史文化教育カリキュラム）の実践、地域及び学校間連携の推進</p> <p>②キャリア教育、志教育の推進 ・松島町内での職場体験学習の推進</p> <p>③国際交流、地域間交流の推進 ・秋田県にかほ市との生徒間交流とICTを活用した国際交流</p>		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
<p>① 町歩きによるふるさと学習や、地域の方々を講師とした地域伝統文化等の総合学習、町学芸員による出前授業などを行った。また、瑞巖寺見学、座禅体験、遊覧船乗船等を行った。（各小・中）</p> <p>① 地域の方をゲストティーチャーに迎え、松島の創作太鼓の演奏に取り組んだ。（一小）</p> <p>② 宮城県が作成した志シートを活用し、各教科等において志教育の指導を実践した。（各小）</p> <p>② 様々な校外学習で社会のために働く大人の姿を見ることでキャリア教育や志教育を推進した。（各小）</p> <p>② 「職業人の話を聞く会」を実施して、様々な職種の方から仕事に就いた経緯や苦勞、大切にしていること、中学生に望むことなどを直接聞く機会を持った。（松中）</p> <p>③ ALTを活用し、各教科・集会・行事の時間に、日本と諸外国との違いに気づく活動に取り組んだ。（各小・中）</p> <p>③ 生徒会の役員生徒が、にかほ市を訪問するリーダー研修会は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となった。（松中）</p>	<p>① 地域の歴史や文化財、伝統的行事について、身近に感じ学ぶことができた。また、学区内に貴重な文化財があることや、日頃はできない体験をすることで児童生徒の学習意欲が高まった。（各小・中）</p> <p>① 太鼓の練習を通して地域の方と触れ合うことができ、地域への関心を高める機会となった。（一小）</p> <p>② 児童生徒が自己の成長を振り返る資料としたり、小中連携の資料や保護者との情報共有の資料として活用することができた。（各小）</p> <p>② 様々な人が働くことで社会が成り立っていることを理解できた。（各小）</p> <p>② 職場体験学習を通して、松島の産業についての理解を深めることによって、松島町の未来、発展、将来について考えるよい機会となった。（松中）</p> <p>③ ALTの母国の文化や自然などについて教えてもらい、日本文化との違いについて感じ取り、外国に対して興味関心を高めることができた。（各小・中）</p>	<p>① 松島町歴史文化カリキュラムに基づき、各学年の体験活動をより充実したものとし、ふるさと松島を愛する心を育んでいく。また、講師を確保しながら、体験活動を更に充実・工夫していく。（各小・中）</p> <p>① 地域と連携してふるさと教育を推進していく。（一小）</p> <p>② 4～6年生において志シートのさらなる活用を図るとともに、全学年において各教科等に渡り、志教育を推進する。（各小）</p> <p>② 発達段階に応じた職業観や働くことへの憧れを持たせるため、時数を確保して継続的に実施していく。（各小）</p> <p>② 地域の人材活用については、教職員と地域コーディネーターの連携を今後も継続的に図っていく。（松中）</p> <p>③ ALTの積極的な活用を図り、児童生徒の国際理解を進め、グローバルな感覚を育む。（各小・中）</p> <p>③ コロナ禍でも地域間交流が行えるよう実施体制を検討する。松島の未来を担う生徒の育成のためには、地域をより深く知るとともに、他地域との比較が行えるような学習内容を検討していく。（松中）</p>

基本施策2：学校教育の充実 （5）まつしま防災学の強化		
事業目的と概要		
<p>◎児童が心身の発達段階に応じて、大規模災害への対応について必要な事柄を理解するとともに、常に安全な行動ができるようにする。</p> <p>◎学校環境や学校生活などにおいて、事故の原因となるような要因を早期に発見し、事故防止と児童の安全確保に努める。</p> <p>①「自助」「共助」「公助」を基軸に据えた「まつしま防災学」の推進</p> <p>②地域との協働した防災教育の実施</p> <p>③安全な教育環境の整備と防災体制の整備</p>		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
<p>① 「まつしま防災学」を学活、生活科、総合的な学習の時間の中に位置づけ、地域防災に関する課題を設定し学習に取り組んだ。（各小・中）</p> <p>① 地震・津波・火災・水害などの災害の種類や、時間や場所に対応した避難訓練を実施し、発災時に自分の身を守るため、どのような行動を取るべきか指導した。（各小・中）</p> <p>① 外部講師による出前授業を行い、災害時における非常食調理を体験した。（松中）</p> <p>② 幼稚園と合同の避難訓練や、保護者への引き渡し訓練を実施した。（各小）</p> <p>② 学校運営協議会で、学区内の浸水区域や氾濫区域を踏まえた避難場所等について協議した。（各小・中）</p> <p>③ 子ども安全対策事業として、スクールガードリーダーを配置し、登下校時に見守り活動を実施した。（教委）</p> <p>③ 施設や設備の安全点検を月に一度実施し、校内の安全確保に努めた。（各小・中）</p>	<p>① 防災教育を通して、防災、減災に関する知識や実践力が次第に高まり、地域防災と連携した地震に強いまちづくりに関心を持たせることができた。（各小・中）</p> <p>① 児童等は状況に応じた避難を経験し、教職員と共に防災への意識を高めることができた。一人一人に防災行動が浸透し速やかに行動する姿が見られた。（各小・中）</p> <p>① 防災・安全に対する意識が向上し、ライフラインが止まった場合の多様な調理方法を身につけることができた。（松中）</p> <p>② 避難訓練、引き渡し訓練を継続して実施してきたことで、整然と行うことができた。（各小）</p> <p>② 学校運営協議会や青少年健全育成町民会議と協力し、関係機関や保護者、地域と情報共有して連携を図った。（各小・中）</p> <p>③ スクールガードリーダーの巡回により、安全指導や不審者対策が図れた。（教委）</p> <p>③ 教育委員会に報告し、危険箇所解消に努めた。（各小・中）</p>	<p>① 視聴覚教材を活用し、「東日本大震災」の経験や記憶を風化させない指導をしていく。（各小・中）</p> <p>① 被害規模をより大きなものに設定したり、登下校時に発災時間を設定するなど様々な場面を想定した避難訓練を実施していく。（各小・中）</p> <p>① 災害時に保護者がいなくとも対応できるよう指導を継続していく。（松中）</p> <p>② 引き渡し訓練の重要性について、保護者に啓発していく。（各小）</p> <p>② 地域と協働して防災教育を行っていく。（各小・中）</p> <p>③ 各学校に登録した地域住民が、学校内外の巡回や危険箇所の監視などを行うスクールガードの育成を検討する。（教委）</p> <p>③ 定期的に点検をし、安全確保に努める。（各小・中）</p>

<p>③ PTA等からの情報提供により，学区内の危険箇所をまとめ保護者と情報共有した。(各小・中)</p>	<p>③ 危険箇所の巡視や学級における児童への指導ができ，効果的であった。(各小・中)</p>	<p>③ 地域防災としての地域との連携を推進するために，地域関係者等との連携を強化していく。(各小・中)</p>
<p>③ 保護者にnopaメールへの登録を依頼した。(各小・中)</p>	<p>③ nopaメールは，緊急連絡など様々な場面で有効に活用することができた。(各小・中)</p>	<p>③ 全家庭がnopaメールに登録するように働きかけていく。(各小・中)</p>
<p>③ 防災主任や安全主任が中心になり，防災計画の見直しを行った。(各小・中)</p>	<p>③ 実際に避難経路等を歩いて確認し，津波の浸水区域や河川の氾濫区域などを想定した避難場所を設定した。(各小・中)</p>	<p>③ より適切で安全な防災計画を目指して，常に見直しを行い，教職員の共通理解を図っていく。(各小・中)</p>

3 基本施策3：地域文化の継承と創造『歴史と文化を継承し、文化遺産の保護と活用を図った教育の推進』

【担当課：教育課生涯学習班】

基本施策3：地域文化の継承と創造 (1) 歴史と文化と地域を学ぶ学習の推進		
事業目的と概要		
①地域との協働によるふるさと体験型教育の推進 ②ふるさと松島の探究と新たな魅力の発見・発掘への取組 ・「松島まるごと学」の実践と充実 ・歴史資料等の調査や地域の埋もれた史跡の再発見及び調査成果活用の促進 ③地域の魅力ある文化・伝統の伝承保存と内外への情報発信 ・日本遺産の周知と関連文化財群のさらなる活用 ④特別名勝松島の景観及び歴史文化遺産の保全		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>親子縄文土器づくり体験教室</b> 2市2町（塩竈市、多賀城市、七ヶ浜町、利府町）と共同で小学生の親子を対象に成形から焼成までの土器づくり体験を実施した。（コロナ禍の状況を考慮して体験は成形のみとし、焼成は職員が実施。） ② <b>松島れきし再発見講座の実施</b> 年間2回の講座を通して松島に関する最新の研究成果の発信や歴史文化基本構想の周知を図る計画としていたが、新型コロナウイルス感染症を踏まえ講座開催を中止した。 ② <b>「松島まるごと学」の実施</b> 学校・関係機関と調整を図りながら、出前授業、見学学習で「松島まるごと学」を実施した。あわせて広報・Facebook・教育委員会HPで取組を紹介した。 ③ <b>日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」魅力発信推進事業</b> 新型コロナウイルス感染症により「日本遺産サミット」及び「日本遺産の日PRイベント」への参加を取り止めた。宮城県並びに構成市町（仙台市・多賀城市・塩竈市）と連携しガイド養成講座を実施した。SNS（Facebook・Instagram等）を活用し、関連情報や魅力の発信を行った。 ③ <b>各種展示</b> 観瀾亭松島博物館（3回）、役場庁舎町民フロア（7回）の展示替え及び「松島湾三町文化財展」（3回）を行った。	① 8月29日に成形を実施し、22組54名（内 松島町は6組14名）が参加した。作品は職員による焼成後に参加者へ引き渡した。 ② 新型コロナウイルス感染症により講座開催は中止としたが、代替対応として観瀾亭松島博物館にて講演内容に関する展示及び資料の配付を行い、地域文化財に対する啓発を行った。 ② 「松島まるごと学」のアンケートでは、児童の9割以上が『町の歴史文化に興味を持った・理解できた』と答え、約9割が『松島をPRしたい』と回答した。 ③ ガイド養成講座は全2回開催し、延べ35人が参加した。Facebookはフォロワー数201名となった。 ③ 新規に寄贈された資料（太平洋戦争関連資料）の展示や「松島れきし再発見講座」の代替展示など時宜を捉えた展示を行うことができた。	① 新型コロナウイルス感染症対策を含めた事業の実施方法を検討し、今後も他市町と連携しながら事業実施に取り組む。更には、町内での周知に努める。 ② 新型コロナウイルス感染症対策を含めた実施方法の検討を行い、魅力ある講座実施に努める。 ② 児童たちの理解度が一層深まるよう出前授業・解説方法を工夫し、町の魅力に触れられるような内容を検討していく。 ③ ガイド養成講座の充実と小中学生対象のガイドツアーの継続を通じて「伊達な文化」の浸透を図る。 ③ 年間計画を立て、綿密な調査活動に基づき定期的な展示替えを行う。

<p>③ <b>文化財・イベント等の広報</b>          広報まつしまへの連載記事の掲載。広報まつしま及び町公式Facebook, HPを活用した文化財関連情報の周知を行った。</p>	<p>③ 毎月の「広報まつしま」で文化財紹介記事を掲載し、12件の所蔵資料等について紹介することができた。その他、町内外での松島町関連資料の展示情報についても周知を図った。          また、イベント募集及び実施内容については、「広報まつしま」に加えてFacebookやInstagramも活用し、広く周知することができた。</p>	<p>③ 効果的な情報発信を行うため、状況に応じて広報誌とSNSなどの手法の使い分けを行い、町内外へ広く周知していく。</p>
<p>④ <b>品井沼干拓資料館等の維持管理</b>          品井沼干拓資料館及び関連施設の維持管理として、資料館の展示替え、ずり出し穴・元禄潜穴穴頭等の除草作業及び支障木の伐採を行うと共に、資料館の利用申請に対応した。</p>	<p>④ ずり出し穴の除草(2回)を実施したことにより、見学しやすい環境を整えることができた。品井沼干拓資料館は27件429名の利用があった。</p>	<p>④ 資料館の展示資料は、主な利用者である小学校4年生には難しい内容であるため、わかりやすい解説パネルの追加等を行っていく。</p>
<p>④ <b>文化財の防火・防災対策</b>          毎年、瑞巖寺・松島消防署等と共同で火災発生を想定した文化財の消防訓練を実施しているが、新型コロナウイルス感染症を考慮して訓練を中止した。</p>	<p>④ 消防訓練を中止したため、広報誌により文化財防火デーの周知を行い文化財の防火・防災意識の高揚を図った。</p>	<p>④ 文化財の保全は、継続した防災訓練を行う必要がある。更に、瑞巖寺では防災設備の改修事業が進められているため、設備内容を踏まえた防災体制の見直しが必要である。</p>
<p>④ <b>西の浜貝塚公園の維持管理</b>          業務委託により公園内の草刈りや樹木剪定等の維持管理を実施した。樹木については、地域の要望を考慮して優先的に実施した。また、はず池周囲の柵について改修を行った。</p>	<p>④ 維持管理は、委託先と連携し、おおむね地域の要望に対応することができた。また、経年劣化による破損や事故のリスクがあった柵の改修を行い安全を確保することができた。</p>	<p>④ 維持管理は、周辺住民の要望を踏まえた管理を実施するほか、経年劣化等により修繕等が必要な箇所について対応し適切な施設の管理に努める。</p>
<p>④ <b>特別名勝松島現状変更申請及び埋蔵文化財届出等に関する相談・申請受付</b>          特別名勝松島については、申請受付・進達のほか、終了予定が迫っている申請に対して期間延長の確認を実施し、2ヶ月毎に宮城県に報告を行った。埋蔵文化財についても協議・届出の受付及び宮城県の指示に応じて工事立会等を実施した。</p>	<p>④ 特別名勝松島の現状変更申請手続き216件を行った。埋蔵文化財発掘手続き16件については、工事立会が12件であり、確認調査が2件である。</p>	<p>④ 各種諸手続きについて、事業者等からの相談に対して適切な指導に努め、更には、無断工事を防止するための周知を行う。</p>

4 基本施策4：生涯学習の推進『協働による家庭教育，地域活動の推進』

【担当課：教育課生涯学習班・中央公民館】

基本施策4：生涯学習の推進 (1) 地域で支える家庭教育の推進		
事業目的と概要		
①公民館・分館事業における協働による地域活動の推進 ・各分館活動を中心とする地域活動の活性化 ・地域の伝承，史跡を知る研修活動 ②自主サークル活動の発足と運営への支援 ・社会教育関係団体登録制度の導入に向けた検討 ③地域に根ざした世代間交流や青少年育成活動への取組支援 ・ジュニア・リーダー育成と活動推進，にかほ市中学生とのリーダー交流 ④心の通い合う「家庭づくり」の啓発と子育て支援の推進 ⑤地域における子どもの社会性を育成する取組の実施 ・地域教育資源の発掘と情報の発信 ・放課後子ども教室の充実 ⑥地域の協働による地域交流センター活用支援 ⑦コミュニティ・スクールと連動した地域学校協働推進活動の推進組織の充実		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>各分館活動</b> 町内12分館の事業実施状況や今後の事業の取り組みについて情報交換と共有を行った。  ② <b>利用団体の調整と調査</b> 各施設の利用団体の実態調査を実施し，会員数やサークル団体加盟者の町内・町外者の把握を行った。  ② <b>自主サークルの育成</b> 町内の幼稚園等で読み聞かせを行っている「おはなしあっぷる」のスタッフを対象にボランティア保険に加入し，活動支援を行った。	① コロナ禍により各種事業の中止や延期がさなれたが，地域活動を継続させていくため分館長会議において，互いの分館においての活動事例や取り組み，考え方などの情報共有を行い，これからの分館活動活動に対するモチベーションが低下しないよう意識付けが図られた。  ② 新型コロナウイルス感染症蔓延防止の観点から利用団体の名簿を収集した。町外利用者の把握にも繋がった。  ② 「おはなしあっぷる」が各幼稚園で月1回程度行うの読み聞かせ活動は，新型コロナウイルス感染症による活動休止を9月から再開し，延べ18回実施された。	① 感染症対策を十分に講じながら分館事業が再開されつつあるが，地域格差が大きい。  ② 今後，利用料金の改定も含め公平な負担の検討を継続していく。  ② 自主サークルは高齢化と会員減少が進み，団体を維持していくことが困難になってきている。近隣自治体の自主サークル活動も参考にしながら，自主サークル活動推進を支援していく。

<p>③ <b>ジュニア・リーダーの育成</b> ジュニア・リーダー育成のため、各種研修会3件、二市三町合同事業1件、地域行事1件へ派遣した。また、定例会を6回開催した。</p> <p>③ <b>中学生リーダー研修会への参加</b> 夫婦町である秋田県にかほ市と本町の生徒会役員の交流を行う「中学生リーダー研修会」について、新型コロナウイルス感染症により中止した。</p> <p>④ <b>青少年健全育成町民会議と共催した取組み</b> 青少年健全育成松島町民会議の役員会の開催、会報「青少年松島」の発行、「子ども110番の家」更新作業等を行った。</p> <p>⑤ <b>放課後子ども教室の実施</b> 新型コロナウイルス感染症のため、放課後子ども教室を2学期からの開催とし、松島第一・第二・第五小学校で各6回実施した。</p> <p>⑤ <b>こころ・はぐくみ隊パート19</b> 町内小学校低学年の全児童から募集を行い、全4回の創作教室を実施した。</p> <p>⑥ <b>地域交流センターの活用</b> 松島東部地域交流センター、手樽地域交流センターの教室・講座については新型コロナウイルス蔓延防止の観点から事業を中止した。</p> <p>⑦ <b>地域学校協働活動の実施</b> 地域コーディネーターが中心となり、町内事業所代表等へキャリア教育の講師依頼を行い松島中学校において「職業人の話を聞く会」を実施した。</p>	<p>③ 新型コロナウイルス感染症の影響により各種行事が中止となったため、定例会や研修会を通してジュニア・リーダーとしての資質・技能を高めることに努めた。</p> <p>③ これまで秋田県にかほ市で実施していた合同研修会を、松島町で実施する予定としていたが、新型コロナウイルス感染症により中止した。</p> <p>④ 例年2回実施していた研修会については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。「子ども110番の家」の更新作業については、各分館の協力を得て実施することができた。</p> <p>⑤ 事業には14名の参加があり、参加者は楽しみながら創作活動を実施することができた。保護者を対象にアンケートを実施したところ、事業継続を求める声が多く寄せられた。</p> <p>⑤ 事業には14名の参加があり、参加者は楽しみながら創作活動を実施することができた。保護者を対象にアンケートを実施したところ、事業継続を求める声が多く寄せられた。</p> <p>⑥ 例年、公民館講座としていちょうの会と共催で松島東部地域交流センターを活用し、教室・講座を実施していた。令和3年より再開出来るよう調整を図った。</p> <p>⑧ 松島中学校2年生93名を対象に7名の町内事業所代表等に講師を依頼し、各職種における職業観や体験談などの講話を実施した。生徒は様々な職種の講話を聴くことにより一人一人の社会的・職業的自立の考え方を学んだ。</p>	<p>③ 意欲的に参加する会員とそうではない会員の二極化が見られることから、活動への積極的な参加を呼びかけていく。また、高校生との繋がりが切れないよう活動継続を働きかける。</p> <p>③ 新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しつつ、本町開催の実現に向けて検討する。</p> <p>④ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視しつつ、研修会等の事業実施を目指して青少年健全育成に関する地域課題の把握や研修内容等の検討を行う。また、「子ども110番の家」の周知に努める。</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底並びにスタッフの人材確保が必要である。更には今後の事業の在り方について検討を進めていく。</p> <p>⑤ 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業実施を検討し継続していく。また、事業内容の周知に努め、広く募集を行っていく。</p> <p>⑥ 手樽地域交流センターと松島東部交流センターともに利用者が固定されている。新たな活用法や利用者が増えるよう、地域へ働きかけていく。</p> <p>⑧ 地域学校協働活動が盛んに行われ、学校支援の輪が広がっている。今後は各所をつなげる組織化に努めていく。</p>
---	---	---

基本施策4：生涯学習の推進 (2) 芸術文化活動の充実促進		
事業目的と概要		
①音楽や芸能等の芸術鑑賞，自主的な芸術活動の推進 ・民間のもつ技術や知識などを活用した文化観光交流館を拠点とする文化発信事業の実施 ②公民館主催講座・教室の充実 ③芸術文化展や演奏会などの開催 ④自主サークルの学習活動への支援 ⑤社会教育施設の整備と運用の充実 ⑥図書室機能の充実と読書活動の推進 ・ボランティアによる読み聞かせや巡回図書活動の推進		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>宮城県巡回小劇場の実施</b> 9月29日に宮城県巡回小劇場「角～いじめっこ姫の物語」を実施した。 ② <b>公民館主催講座・教室</b> 御朱印帳教室やつまみ細工教室，紙粘土教室など日本の伝統文化に触れる教室や町民の健康増進やコロナ禍から来るストレスを緩和させるためにヨガ教室を実施した。 ③ <b>芸術文化展の開催</b> アトレるまつり，文化観光交流館まつりについては新型コロナウイルス蔓延防止の観点から中止した。 ④ <b>自主サークル活動</b> 書道やコーラス，太鼓など多種多様な24の自主サークル情報提供や利用料の減免等を行った。 ⑤ <b>社会教育施設の整備</b> 勤労青少年ホーム，東部・手樽地域交流センターの維持管理や修繕等を行った。 ⑥ <b>読書活動の推進</b> 町内の幼稚園・保育所・児童館へ巡回図書を毎月実施した。また，ブックラリー（春期・秋期）を開催した。	① 松島第一小学校4・5年生102名が本格的な演劇を鑑賞することにより芸術に関する感性を深めた。 ② コロナ禍で，映像など使い3密に気をつけながら，楽しんで作品を作成した。ヨガを行い町民がリラックスでき，健康増進につながった。 ④ コロナ禍により活動を自粛したサークルも多いが，地域に根ざした自主サークル活動が展開されている。 ⑤ 2月，3月の地震により天井一部の崩落等の損傷があった。早期に修繕を行い，休館等利用者に大きく不便を掛けることがなく修繕業務を終えた。 ⑥ ブックラリーや巡回図書により未就学児や就学児が図書に触れる機会を設けることができた。	① 今後も芸術に触れる機会を確保していくため各小学校や公演団体と連携を図り，円滑な実施に努める。 ② 映像で指導しても細かい作業になると，どうしても対面で指導しないと理解できない。短時間の対面の接触になるように気をつけたい。 ③ 中止ありきの考え方ではなく，手法等を工夫しながら事業のあり方を検討していく。 ④ 自主サークルの高齢化の問題や新規サークルが設立・活動できる環境づくりなど活発な自主サークル活動が展開できるような工夫が必要である。 ⑤ 施設の老朽化に伴い経年劣化による不具合等を整理し，利用者が安全安心に施設を利用できるように整理していく必要がある。 ⑥ 「子ども読書の日」の趣旨・目的に鑑み，幼児期から読書の習慣をつけていただくため，更に周知・広報を行い参加者を募る。



基本施策 4：生涯学習の推進 (3) 国際感覚を培う生涯学習		
事業目的と概要 ①歴史・文化・景観をテーマとする異文化圏との交流活動の企画 ②日本遺産など歴史や文化の国内外への情報発信と交流活動の推進 ③児童生徒の国際交流や地域間交流の企画と実践		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>異文化圏との交流活動</b> 令和2年度は実施なし。  ② <b>日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」魅力発信推進事業</b> ポスターや多言語パンフレット等を国内外に配布した(873部)。Facebook(投稿数64件)等各種SNSを用いて広く情報発信を行った。 ③ <b>児童生徒の国際交流や地域間交流</b> 令和2年度は実施なし。	② Facebookページの投稿へのリーチ数9,697人と、広く国内外に「“伊達”な文化」の魅力を周知することができた。	① 松島町内在住の外国人や、松島町に訪れる外国人に対して本町の歴史・文化等に関する交流活動を検討していく。  ② 各種ガイド団体と連携し、既存の多言語コンテンツの有効活用を図っていく。  ③ 他市町村の取り組みも参考にしながら、国際交流の機会や地域間交流の企画を検討していく。また、「子ども英語ガイド」事業とタイアップした国際交流事業等の検討も行う。

5 基本施策5：町民総スポーツの推進『スポーツをとおした町民の活力と地域の活性化』

【担当課：教育課生涯学習班】

基本施策5：町民総スポーツの推進 (1) スポーツをとおした地域・世代間交流の推進		
事業目的と概要		
①分館活動等地域の協働による身近なスポーツの普及推進 ・町民ふれあいスポーツ大会の開催 ②スポーツによる他市町村との交流の企画・支援 ③秋田県にかほ市等との各種スポーツ交流の推進		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>町民ふれあいスポーツ大会の実施</b> 新型コロナウイルス感染症により、町民ふれあいスポーツ大会は中止した。  ② <b>B&amp;Gスポーツフェスティバルへの参加</b> 新型コロナウイルス感染症により、マリンスポーツフェスティバル並びにウインタースポーツフェスティバルは中止した。  ② <b>宮城ヘルシー2020ふるさとスポーツ祭仙台管内大会への参加</b> 新型コロナウイルス感染症により、宮城ヘルシー2020ふるさとスポーツ祭仙台管内大会は中止となった。  ③ <b>にかほ市とのスポーツ交流</b> 新型コロナウイルス感染症により、にかほ市とのスポーツ交流事業は中止となった。	③ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から交流事業が中止されたため、スポーツ団体への補助金交付(松島町体育協会経由)は無かった。	① 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業の実施方法の検討が必要である。また、世代間・地域間交流が活発に行われるような種目等を検討していく。  ② 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた事業の実施方法の検討が必要である。また、幅広く参加者募集を図るため広報誌の掲載並びにSNSの活用などで周知を図っていく。  ② 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた大会運営を主催者側に要望するとともに、多くの参加者を募れるよう広報誌の掲載並びにSNSの活用などで周知を図っていく。  ③ 継続した事業実施が交流を活性化させるため、事業実施に当たっての調整等の支援を行っていく。

基本施策5：町民総スポーツの推進 (2) 体力づくりの推進		
事業目的と概要		
①子どもの体力・運動能力向上の推進 ②体力づくり推進の地域コーディネーターやボランティアの育成 ③スポーツ施設の効果的な活用推進による町民の健康増進		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
<p>① <b>幼児期の運動習慣のきっかけ作り・体力向上</b> 指定管理者による町立幼稚園・保育所の幼児を対象とした巡回教室（からだづくり運動やボール運動、プールの水慣れなど）を定期的で開催した。</p> <p>② <b>スポーツ推進委員等の取組み</b> 放課後子ども教室において、スポーツ推進委員がスタッフとして登録し、体育館や校庭で参加児童に野球やバドミントン等の競技を指導した。</p> <p>③ <b>指定管理者制度による管理運営</b> 町管理施設の維持管理と補修を行った。</p>	<p>① 町内の全幼稚園・保育所で教室を開催し、計20回の巡回教室を実施したことで、幼児の体力・運動能力に寄与することができた。</p> <p>② 基本的なルールや動き方を学んだ参加児童は、スポーツの楽しさ・面白さに気づき、様々なスポーツにも取り組もうとする意欲が高まった。</p> <p>③ 指定管理者と連携して適切な管理を行うとともに、必要な箇所の修繕を行った。</p>	<p>① 幼児向けの巡回教室の回数を増やし、より幼児の体力・運動能力向上を図っていくには、幼稚園・保育所の行事や保育との調整が必要である。</p> <p>② 放課後子ども教室にスタッフとして参加していることから、児童が様々なスポーツを体験できるよう工夫を図っていく。また、スポーツ推進委員としての活動が限られている現状であるため、活動の在り方について検討が必要である。</p> <p>③ 今後も継続して効果的な活用を図っていく。更には、施設の老朽化に伴い経年劣化による不具合等を整理し、利用者が安全安心に施設を利用できるようにしていく。</p>

基本施策5：町民総スポーツの推進 <b>(3) 観るスポーツの推進</b>		
事業目的と概要 ①レベルの高いスポーツ大会の開催・招致 ②一流アスリートの招致によるスポーツ教室の開催 ③東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた啓発		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① <b>全日本実業団対抗女子駅伝競走大会の円滑な事業運営と運営補助</b> 11月22日に、文化観光交流館前をスタート地点として全日本実業団対抗女子駅伝競走大会が実施された。	① 本町が大会のスタート地点として開催されることから、一流アスリートを間近に見ることができ、スポーツへの関心を高めることができた。  ③ 東京2020公式アートポスター展を実施し、翌年の東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向け、機運を高める一助となった。	① 新型コロナウイルス感染症を踏まえた競技観戦の検討並びに周知を行っていく。また、松島町体育協会の協力のもと、コース整理ボランティアを確保していく。  ② 松島町体育協会と連携を図りながらスポーツ教室等の実施を検討し、運動の必要性・重要性並びに楽しさの普及に努めていく。  ③ 本町において聖火リレーが実施されることから、運営等に当たり多くの協力者を必要とする。更に、コース一帯は交通規制となり付近住民等へ大きな影響があるため、細やかな啓発活動を実施する必要がある。
② <b>一流アスリートの招致によるスポーツ教室の開催</b> 令和2年度は実施なし。		
③ <b>東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた啓発</b> 新型コロナウイルス感染症により、東京2020オリンピック・パラリンピックの実施が延期された。翌年の開催に向けて、東京2020公式アートポスター展を文化観光交流館の観光インフォメーションルームで開催した。(令和3年2月17日(水)～28日(日))		

基本施策5：町民総スポーツの推進 (4) スポーツをとoshita心と体の健康		
事業目的と概要		
①高齢者向けスポーツ教室の検討及び実施 ②ウォーキング等推進のための環境づくりの推進 ③障がい者向けスポーツ教室の検討及び実施		
事業実施状況	事業の効果	事業の課題・改善策
① 高齢者を対象としたスポーツ 指定管理者事業として実施。	① いきいき健康教室を実施し、高齢者の健康増進に寄与した。	① 指定管理者と連携して教室の内容を充実させ、参加者を増やしていきたい。
② ウォーキング等推進のための環境づくり 令和2年度は実施なし。		② 健康長寿課で作成するウォーキングマップの定期的な更新を行う際に、文化財情報の提供を行っていく。
③ 障がい者向けスポーツ教室 令和2年度は実施なし。		③ 継続して検討する。

## 第4章 学識経験者による意見

### 令和3年度（令和2年度対象）松島町教育委員会教育行政点検評価報告書についての意見書

学識経験者（元小学校校長） 佐藤 実

#### I はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することを義務づけられています。

その目的は、教育委員会が的確で効果的な教育行政を推進しているかどうかについて、地域住民に対し詳細を明らかにし、その報告を通して、地域住民が地域の学校教育や社会教育に意識を持って関わっていくというものです。

本報告書の評価を行うにあたって、松島町教育振興基本計画（平成25年3月策定）に基づき実施した取組内容を点検評価し、本町教育の目指す姿である『誇りと絆を育みしなやかに生きる松島人』に近づくために、地域性や教育現場の実態を的確に捉え、教育計画に具体的に位置づけ、取り組むことを期待します。

#### II 基本施策毎見解

##### 1 基本施策1：幼児教育の充実

- ・子育て支援センターの子育て相談で臨床心理士のアドバイスにより保護者の不安解消を和らげ、担任とも連携が深まったことは大いに評価できます。
- ・アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムなどを作成し、「幼・小・中を通した12年教育」の円滑な取り組みを行ったことは、「小1プロブレム」や「中1ギャップ」などの問題にも対処できており、自己実現の基礎を培ううえで効果的であった。今後も継続して取り組むことを期待します。
- ・特別支援の早期体制づくりと連携につきましては、巡回相談を活用し、教師のスキルアップと園全体の支援体制の見直しを図ったことは評価できます。今後も継続願います。
- ・各園の教育活動を教育委員会のホームページに積極的に掲載することで、親子間の話題づくりの場を提供したことは、保護者はもとより広く町民からも信頼を得たものと判断できます。
- ・保護者の実情に合わせて預かり保育を実施し、数多く利用されたことは大いに評価できます。今後も、保護者のニーズに寄り添った支援体制の充実を願います。
- ・小学校の交通安全教室等に参加し、それらを踏まえて職員全員で危険箇所を巡視し安全の確保に努めたことは大いに評価できます。今後も定期的実施し、危険箇所の早期発見を期待します。

##### 2 基本施策2：学校教育の充実

- ・個に応じたきめ細かな指導「少人数、習熟度に応じた指導、T・T、教科担任制等」により確かな学力の保証を行ってきたことは、効果があったと考えています。今後とも、その裏付けとなる教師一人一人のスキルアップを重視した研修の充実を願います。

- ・通級指導担当や補助支援員と担任が連携を深め、特別な支援が必要な児童に対する指導をさらに充実させていただくことを期待します。今後も、特別支援教育連絡協議会等での情報交換を密にされ、個々の児童生徒に応じた支援について共通理解が図られるよう願います。
- ・小中学校に1人1台のタブレットPCを整備し、ICT教育・プログラミング教育等において積極的な学習を展開したことは大いに評価します。先生方のスキルアップも並行して取り組むよう願います。
- ・地域と共にある学校（コミュニティ・スクール）への転換を図り、学校運営協議会を母体に、地域を巻き込んだ特色ある学校づくりを推進していただきたい。
- ・スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）、「子どもの心のケアハウス」の関係者などと円滑な連携を図り、不登校児童生徒の学校復帰や自立支援に取り組まれたことは大いに評価できます。さらなる不登校児童生徒を出さないという姿勢で、学校全体で取り組まれることを期待します。
- ・「いじめ防止基本方針」を公表し、各校でのいじめ防止の取り組みや連携体制を明確にしたことは、評価できます。また、シトラスリボン運動に取り組み、偏見や差別について児童生徒に考えさせたことも、大いに評価できます。
- ・「松島まるごと学」は、地域の歴史や学区内の貴重な文化財、伝統行事など、日頃できない体験を身近に感じさせ学習意欲を高めたと考えます。また、中学生を対象とした「職業人の話を聞く会」は、松島町の未来、発展、そして自分の将来について考えるよい機会が提供されたと考えます。
- ・「まつしま防災学」は、幼児教育から発達段階に応じた取り組みをしている県下に誇れるものです。さらに、大川小学校の判決なども意識され、防災、減災に関する知識や実践力が高まるような指導（地震、津波、風水害、土砂災害、雷などの災害に対応した指導）を期待します。

### 3 基本施策3：地域文化の継承と創造

- ・コロナ禍ではありましたが「親子縄文土器づくり」、「松島まるごと学」等の事業をとおして、ふるさと松島の探求や魅力の発見ができ、参加者から好評を得たことは評価できます。とりわけ「松島まるごと学」は学校や関係機関と調整を図りながら、出前授業・見学授業など工夫を凝らして実施したことは大いに評価できます。
- ・広報まつしま及び町公式FacebookやHPを活用して文化財関連情報を周知していただきました。分かりやすい記述で松島の歴史文化を振り返ることができる内容でしたので、今後も継続していただくよう願います。

### 4 基本施策4：生涯学習の推進

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、主要事業が中止となりましたが、特に、リーダー養成・研修は本町の次代を担うリーダーの育成につながりますので、今後も継続していくべき大切な事業と考えます。
- ・自主サークル活動等事業もコロナ禍ではありますが、工夫を凝らしながら実施していただきたいと思います。
- ・各種SNSを用いて、「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力を発信できたことは大いに評価できます。児童生徒の国際交流や地域間交流の活動は、コロナ禍で実施できませんでしたが、収束後の再開を期待します。

### 5 基本施策5：町民総スポーツの推進

- ・「町民ふれあいスポーツ大会」、「B&Gスポーツフェスティバル」等は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったことは極めて残念に思います。しかし、その主旨（町民ふれあいスポーツ大会は世代間交流を図ること）は、次年度実施までしっかり持ち越していただきたいと思います。
- ・コロナ禍にもかかわらず、町内の幼稚園・保育所からだづくり巡回教室を定期的実施したことで、運動能力の向上のみならず、生涯にわたる運動習慣への大切なきっかけ作りとなりましたので、今後も工夫を凝らしながら継続していただくよう願います。

- ・全日本実業団女子駅伝競走大会に出場した一流アスリートを間近に見ることにより、スポーツへの関心を高めることができたことは評価できます。今後も継続してレベルの高いスポーツ大会の開催と招致を希望します。
- ・障がい者向けスポーツ教室は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりましたが、次年度は楽しめるパラスポーツ競技の体験教室の開催なども期待します。また、松島町は高齢化率の高い町の一つなので、そのことを踏まえた事業の開催、参加周知の工夫を期待します。

### Ⅲ おわりに

近年、少子高齢化社会の進展、技術革新などにより、社会構造が大きく変わりはじめ、これらの社会を生き抜くための必要な力などの見直しが必要になってきています。また大規模自然災害や新型コロナウイルス感染拡大など、これまでの経験からは太刀打ちできない事態も生じてきています。

学校教育に目を向けてみますと、依然として根強く存在するいじめや不登校、児童虐待等、そして新型コロナウイルス感染拡大によって安全・安心の確保、学びの継続・保障、教育機会の確保等、これまで経験したことない深刻な課題も山積しており、それらの課題を解決するための教師の力量、教師集団の力も、これまで以上に問われています。

このような時だからこそ、社会とのつながりを大切にしながら、学校と家庭が同じ教育方針で協力し合い、児童生徒が主体的に考え、行動する、自主自立を備えた未来に活躍する子どもたちを育てていただくことを期待します。

社会教育においては、コロナ禍によって、従来型の事業形態に加え、各種SNS等を活用した学習機会・情報の提供などに取り組んでいただきました。今後とも、高齢化社会の中で、町民一人一人が元気で生きがいを持って生活できる町民の学び・集いの場として、生涯学習・社会教育のあり方を模索していただくことを期待します。



令和3年度（令和2年度対象）  
松島町教育委員会教育行政点検評価報告書

令和3年10月発行

発行：松島町教育委員会

教育長  
教育長職務代理者  
委員  
委員  
委員

内海  
瀬野  
鈴木  
安倍  
佐藤

俊行  
千恵  
康夫  
七恵  
晴子

意見：学識経験者

佐藤 実

編集：松島町教育委員会 教育課 学校教育班

〒981-0215

宮城県宮城郡松島町高城字婦命院下一19-1

TEL：022-354-5713 FAX：022-354-3140

URL：<http://www.matsushima.ed.jp/>